

早稲田大学 政治経済学部 世界史 講評

〔総合分析〕

出題形式	マーク式・記述式併用
試験時間	60分
特徴・その他	スペインのペルー統治を描いた図を使った問題はいくら図柄を見てもはっきりと結論が見えてこない難問。過去に出題例のない形式で、これが定着するとなると手強いことになる。ここ数年来の易化傾向が逆転し難化。私大最難といわれた時代に戻った感がある。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
	アジア史雑題	正誤判定問題の「間違った」箇所が非常に細かい。『真臘風土記』の成立は元だが、スールヤヴァルマン2世は12世紀、衛満は漢の高祖の時代に滅亡した燕(郡国制の「王国」)の人など、正誤の判定は容易ではない。	難
	ベトナム現代史	1の仏印進駐の「ドイツへの原料資源供給」・4のゴ=ディン=ジェムの「北への侵攻」・5のベトナム戦争派兵国の「イギリス」など、既存の知識から判定するのは不可能に近い。全体的かつ常識的な判断で「ありえない」と判断するしかない。	難
	ヘブライ・ローマ史・イスラム史	教科書・用語集をしっかりと学習すれば満点が可能。	標準
	ヨーロッパ諸国の新大陸・アジア進出	3の黒人とインディオの混血「サンボ」は用語集にない。消去法も「マメルコ」(白人と黒人の混血)があって二者択一までしか絞り込めない。2の図は、図を見るとあれこれ解釈が可能なようで迷ってしまう(- 3の織物は簡単)。かえって選択肢の文を読み比べて常識的に判断した方が早い。B - 1の「ミタ」は高校生・受験生レベルでは対処不可能。	難
	南北アメリカ史	B - 4は「エクアドル」か「ベネズエラ」か迷うところ。どちらも大コロンビアから1830年に独立	標準

	<p>第一次世界大戦</p>	<p>しているが、エクアドルは 1822 年にスペインから独立、ベネズエラはミランダが指導して 1811 年に独立した。</p> <p>A - 4 のモンゴルは人民共和国として 1924 年に成立したが、実質的にはソ連の傀儡国家で、ソ連以外にこの国を承認した国はなかった。</p>	<p>標準</p>
--	----------------	--	-----------

〔総合コメント〕

正誤判定問題中心の出題傾向にかわりはないが、ここ数年とくらべると「誤文」の間違いのレベルが非常に細くなっている。自信をもって判定するには膨大な知識が必要となり、高得点は容易なことではない。ただ、問題なれして、ある程度「勘」が働くようになった受験生は、何度か文章を読むうちに「はっきりとした根拠はあげられないが、これがあやしい」といった判断ができるとおもう。高得点獲得には問題なれとセンスが必須である。